【著作紹介】トップアナリストがナビする金融の「しくみ」と「理論」

著者：野崎　浩成（国際学部グローバル・イノベーション学科　教授）

出版社：同文舘出版
出版年：2015 年 11 月発行
価格：2,800 円＋税
ISBN：9784495442217

所蔵状況を確認する
http://triton.lib.toyo.ac.jp/detail?bbid=U102138539

内容：
金融論は難しいという偏見を一掃!
基礎編で、金融のしくみを懇切丁寧に解説。
応用編では、金融の理論を実践で使えるようエクセルのシートを使用した問題分析の手法が具体的に学べる。

同文舘出版の紹介ページ
https://www.dobunkan.co.jp/books/detail/002707

教員メッセージ

あなたの人生と生活を劇的に変える金融の本!テレビ、新聞、ネットのニュース記事が今までと違って、見えてくる!情報に対する感度が上がり、「深読み」や「先見力」が高まる!巻末の索引を逆引きすれば、幅広い金融の知識が身に付く!この一冊で活きた金融論のすべてが学べる実践的な解説書!

［著者］　野崎　浩成（ノザキ　ヒロナリ）

1986 年慶應義塾大学経済学部卒。1991 年エール大学経営大学院修了。博士(政策研究、千葉商科大学)。埼玉銀行、HSBC、シティグループ証券マネジングディレクター、千葉商科大学大学院客員教授などを経て 2015 年 4 月より現職。

米国 CFA 協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会検定会員。2010 年日経アナリストランキング総合 1 位(全産業)、日経アナリストランキング 1 位(銀行部門、

2015 年まで 11 年連続)、インスティテューショナル・インベスター誌 1 位(銀行部門、2013 年まで 10 年連続)。2015 年金融審議会専門委員。

著書に『トップアナリストがナビする金融の「しくみ」と「理論」』(同文舘出版)、『銀行』『バーゼル III は日本の金融機関をどう変えるか(共著)』(以上、日本経済新聞出版社)、『銀行の罪と罰』(蒼天社出版)、『銀行のグループ経営(共著)』『グローバル金融システムの苦悩と挑戦(共著)』(以上、金融財政事情研究会)などがある。

関連リンク

東洋大学研究者情報データベース（野崎浩成教授）
http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.08cae0a60c6f5e8f7063733cd9177903.html